

緑のカーテン取り組み情報



お名前	渡辺 定広 (甲斐市)		
育てた植物の種類	ぶどう、パッションフルーツ、朝顔、きゅうり、ゴーヤ		
設置場所	自宅東に朝顔とゴーヤ。和室の南にぶどう3種類ときゅうりを混植。 事務室の東窓際にぶどう(ピオーネ)、西にパッションフルーツ		
カーテンの大きさ	ぶどうは棚の高さ:約2m 幅:縦3x横3m	取り組み年数	15年目

緑のカーテンの効果

直射日光が優しい木漏れ日になり、冷房を使う時間が短くなりました。
ぶどう棚の下でバーベキューや趣味の園芸作業ができます。
和室のレースのカーテンに映る3種類のぶどうの影は時間とともに変化し、まるで額縁の墨絵のよう。
お茶をしたりして過ごす時、葉と葉の間の木漏れ日が何とも言えない穏やかな感じで素敵でゆったりします。

育てる際の工夫・苦労

庭の土中は廃材や様々な土石が混在していて植物の栽培は不可能だったので土を40センチほど桂土に入れ替、ピオーネは以前庭隅の練習用バンカーの砂地だったところへ植栽、水はけは良好。肥料は甲斐市で配布の有機土壌活性液(液肥)を使用。ピオーネは病害虫除けに袋掛けをしたくらいで特に消毒はしません。大量のカナブンに葉っぱを食われフンがたくさん落ちていたがそれも肥料になったのかもしれない。

感想・楽しみ方など

今年ピオーネにかけた袋は80枚、初めてジベ処理をして「種無し」でおいしくいただきました。きゅうりとぶどうの混栽も良かった。
来年は日の当たる2階の部屋にも緑のカーテンを設置したい。
28年開催の「ぶどうを使用した緑のカーテンセミナー」でいただいた2種類のぶどうも生育中、新たなぶどう棚を設置し収穫が待ち遠しい。